

第32回 北海道生活科・総合的な学習教育研究大会

自分の学びを実感し
未来を拓く子どもの育成
～“手応え”のある学びの実現～

総合部会

研究 内容 1

「自分と職業とのつながり」を中核とした活動のもと、職業観と自分らしさに対する概念を形成していく中で、必要感をもって主体的に探究できる活動構成

身に付けさせたい資質・能力の具体化と、
子どもの探究過程を想定した活動の構成

(1) 育成を目指す資質・能力の具体

単元名		なんだろう、なんだろう	
探究課題		実社会で働く人々の姿と自己の将来(キャリア)	
単元で育成を目指す資質・能力	知識及び技能	概念的な知識の獲得	働くことについて考えたり、実際に働く人の思いに触れたりすることで、「生きがい」「やりがい」には多様性や共通性があることに気付き、自分のよさや興味を生かしながら、自立的な行動や努力で未来を切り拓いていくことが重要であると理解する。
		自在に活用することが可能な技能の獲得	働くことに関しての体験活動や調査活動を、身の回りの人やゲストティーチャーの方から、目的や対象に応じた適切さで実施することができる。
		探究的な学習のよさの理解	職業観の広がりや、自分自身の意識の変容は、多様な事項や人々へ関わることを通して探究的に学んだことによる成果であると気付く。
	思考力、判断力、表現力等	課題の設定	働くことに対するイメージと実際に働く人の話を統合させながら、これまでの自分を見つめ直すことで課題を見だし、解決に向けて自分にできることを考えることができる。
		情報の収集	本やインタビュー、働くことについての体験活動から、必要な情報を収集し、共通点をまとめたり、働く人の思いを分類したりして蓄積することができる。
		整理・分析	自分自身がもつ職業観や自分が収集した情報、友達が収集した情報を比べたり、関連付けたりしながら、働くことの意義について考えを深めることができる。
		まとめ・表現	自分の生き方について考えることで見えてきた、今の自分自身が大切にしたいことを、目的に応じてまとめ、適切な方法で表現することができる。
	学びに向かう力、人間性等	主体性・協働性	「自分って、なんだろうシート」を更新していく活動を通して、自分の特徴やよさに気付き、友達やゲストティーチャーの考えを生かしながら、探究活動に進んで取り組もうとする。
		自己理解・他者理解	「働くこと」に対する自分の意識を明らかにするとともに、他者の考える職業観や考えのよさを生かしながら、協働して学び合おうとする。
		将来展望・社会参画	今までの自分を振り返ったり将来の自分を想像したりすることで、これからの成長への希望や、自分らしい生き方をしていこうという意欲をもつ。

活動構成の意図

小学校段階におけるキャリア発達は、「人は社会における自己の立場に応じた役割を果たし、自分らしい生き方を実現しながら生活する中でキャリアを形成する。キャリア発達には『社会における自己の立場』や発達段階において期待される役割を認識する必要がある。（小学校におけるキャリア教育の手引き【改訂版】2011 文部科学省）」ことを踏まえる必要がある。つまり、キャリアに関する探究課題に基づく本単元においては、「働くこと」に対する探究活動を通して、職業について調べ進めていくことで、自分らしい生き方を見付ける手掛かりとしたり、将来への希望へとつなげたりしていく活動が展開されるよう構成を工夫することが大切であるということを意味している。こうした「働く」というフィルターを通して常に自分の生き方、在り方を考えるための資質・能力が獲得されていくような単元の構成を目指した。

「自分って、何だろうシート」の活用による自分への気づきの自覚化

単元導入では、「働くこと」についてのイメージを出し合うことで、具体的な職業観を広げたり共有したりして、「働くこと」と子どもとの距離感の見極めを図る。加えて、この段階で高校の進路担当教諭へのインタビュー活動を設定し、職業を選択・実現していく上で、「自分自身がどのような人間なのかを探りながら、職業観を深めることが大切であること」をメッセージとして伝えてもらい、「働くことについてもっと知りたい。」「自分自身のことについてもっと知らなくてはいけない。」といった思いを高めることをねらった。

本実践では、このように様々な人との関わりや体験を通して「働くこと」に対する思いが醸成されていく。そこから生じる自分の在り方に関する考え方の変容を見つめ続ける手立てとして『自分って、なんだろうシート』を活用し、自分の特徴やよさに関する再認識や新たな気づきを、あるいはこれまでは見えなかった職業と自分とのつながりを明らかにできるようにしていく。このシートは、活動ごとに見直され、更新されていくようにしていくが、どのタイミングで、誰の考えに触れた結果、自分の思いや考えが変容したのかを自覚化できるようにし、自分の在り方を知ることができたという学びの手応えを得られるような活用を目指す。

多種多様な GT との関わりから自分を見つめ直す

小単元2では、夏季休業中の探究活動の成果を交流することから始める。長期休業期間に最も身近な「家族の職業観」について情報収集を行う意図は、探究活動を支える意欲を継続できること、自分にとって最も身近で仕事を経験している先輩の思いに直接触れることで職業観に関する視点をもつことができるという二点である。こうして得られた多様な情報を整理・分析することで、当初の課題が「家族以外の大人はどんなことを考えているのか。」のように更新されていく。その段階で、様々な業種や職種のゲストティーチャーを招聘し、話を聞く機会を設ける。自分自身の抱く職業観や自分自身に関する理解などを土台として、ゲストティーチャーあるいは友達のと比較したり関連付けたりすることで、現時点での自分自身のよさや強みに改めて気づき、本当に今の自分が大切にしていきたいことが一層自覚化されていく。そうして自分自身の「自分らしい生き方」の理解が深まり、さらに「将来に向けて頑張りたい。」「夢へ向かって努力をしていきたい。」「まだ夢は決まっていないけど、今できることを頑張っていきたい。」という将来へ向けた希望をもてるようになり、「自分自身の在り方」が大きな学びの手応えへとつながり、『自分って、何だろうシート』に表現されていくと考える。

手応えにつながる 問い

総合的な学習の時間における問いとは、瞬間的に生まれるものではなく、探究の過程で醸成されていくものである。子どもの中に無自覚のうちに生まれてきている問いを自覚したり再認識したりできるようにすることが、子どもの問題解決に対する熱量を高めることにつながり、ひいては“自分で解決することに対する手応え”にもつながると考える。

前時までに児童は、様々な業種で働くゲストティーチャー（以下 GT）から収集した情報を学級で共有したり、GT の『じぶんって、なんだろうシート』を分析したりすることで、心が動いたところを共感ポイントとして整理している。

本時ではまず、『じぶんって、なんだろうシート』をもとに、共感ポイントの根拠となる GT の言葉を交流する場を設ける。伝え合いの中で生まれる気付きや多様な考え方を視覚的に整理しながら、子どもが「自分が大切にしたいことは何だろう。」という問いを醸成していけるよう支えるようにする。

手応えを感じるための 学びの捉え直し

本時において児童が手応えを最も感じるのは、「GT の特徴と職業」が、「自分の特徴やなりたい職業」に引き寄せられた瞬間である。その際、「GT の特徴と選択している職業」が自分に近いという理由であっても、自分とは違うという理由であっても、比較や関連付けを図りながら、自分なりの納得解を見いだしていく過程を重視し、“自分で解決することに対する手応え”へとつなげていきたい。

探究の足跡を俯瞰的に 辿り直すための手立て

子どもが“自ら学習を調整することに対する手応え”や“自分の力の伸びに対する手応え”を感じるためには、自らの探究の足跡を俯瞰的にたどり、その過程で得られた手応えを自覚していることが欠かせない。そこで、ポートフォリオ化して記録している毎時間の振り返りや、活動の節目ごとに更新してきた『じぶんって、なんだろうシート』に記された思いや考えの変遷を根拠に、過去の自分と向き合うことができるようにする。

本時においては、これら2つのシートを有効的に活用できるよう促す。『じぶんって、なんだろうシート』を見直しながら、「自分の考え」「GT の考え」「友達の考え」について比較や関連付けを図り、「自分はどのようなことを大切にしていきたいか」について考えられるようにする。そのために、本時では『じぶんって、なんだろうシート』を更新するときに色を変え、自分の思いや考えの変容を捉えやすくする。『じぶんって、何だろうシート』の記述がより具体的になったり変容したりするということは、自分への理解が深まっていると捉えることができる。それらを視覚的に捉えながら自分の大切にしたいことを分析できるようにすることで、児童は少しずつ自分の納得を生み出していく。そのような自分なりの納得解を見付けていく姿こそが、学びを捉え直している姿であると考えられる。

このように働くことや自分らしさを捉え直し、より手応えを実感できるようにしていくことが、将来を展望し、前へ進むとする資質・能力を育むと考える。

学校・学年 単元名		札幌市立円山小学校 6 年 1 組『なんだろう、なんだろう』						学習事項			・地域で働く人の存在と働くことの意味 ・地域社会を支える様々な職業や機関 ・自分自身のよさへの気付きと将来展望																				
探究課題 (類)		実社会で働く人々の姿と自己の将来 (キャリア)																													
単元の概要		○本校の 6 年生は、「医者」「弁護士」など、職業に対して憧れをもち、そのために努力したいと考えている児童が多数いる。その一方で、「なりたい職業は特にない」、「イメージが湧かない」という児童も一定数存在する。 ○また、知識は豊富でありながら、「なぜ」「どうして」といった、理由や意味を問われることを苦手とする傾向にある児童も少なくない。こうした実態から、答えのない問いと向き合う探究的な学びを通して、児童が自分自身を見つめ、見方を変えたり視野を広げたりすることができるように活動を構成する。そうすることで児童は、「働く」ということに対するイメージを広げながら、友達や家族、ゲストティーチャーと自分を繋ぎ、働くことの意味や、自分自身が大切にしたい生き方についての納得解を模索していく。さらに未来の自分を想像する活動を設定することで、自分のよさや好きなことを生かそうと考えを巡らせたり、諦めずに努力することの大切さに気付いたりすることができるようにする。 ○単元を通して、探究を通して得た自分なりの価値を記録する「じぶんって、なんだろうシート」を活用し、思いを蓄積したり更新したりしていけるようにしていく。学びを振り返る中で、人との出会いによって生まれた考え方が自らを変容させ、成長させていることを自覚し、未来に自信や期待をもって将来展望する姿を期待する。																													
単元の目標		働くことに関する自分自身のイメージを様々な仕事に携わる人などの思いや考え方に照らして客観的に捉えていく活動を通して、働くことの意義や職業観には多様性や共通性があることを理解するとともに、働くことの価値を自分のよさと関連付け、未来に向けた自身の在り方を前向きに展望しようとするができるようにする。																													
単元の 評価規準		知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度																					
		① 働くことについて考えたり、実際に働く人の思いに触れたりすることで、「自分らしさ」には多様性や共通性があることに気付き、自分のよさや興味を生かしながら、自立的な行動や努力で未来を切り拓いていくことが重要であると理解している。 ② 働くことに関しての体験活動や調査活動を、身の回りの人やゲストティーチャーの方から、目的や対象に応じた適切さで実施している。 ③ 職業観の広がりや、自分自身の意識の変容は、多様な事項や人々へ関わることを通して探究的に学んだことによる成果であると気付いている。				① 働くことに対するイメージと実際に働く人の話を統合させながら、これまでの自分を見つめ直すことで課題を見出し、解決に向けて自分にできることを考えている。 ② 本やインタビュー、働くことについての体験活動から、必要な情報を収集し、共通点をまとめたり、働く人の思いを分類したりして蓄積している。 ③ 自分自身がもつ職業観や自分が収集した情報、友達が収集した情報を比べたり、関連付けたりしながら、働くことの意義について考えを深めている。 ④ 自分の生き方について考えることで見えてきた、今の自分自身が大切にしたいことを、目的に応じてまとめ、適切な方法で表現している。				① 「じぶんって、なんだろうシート」を更新していく活動を通して、自分の特徴やよさに気付き、友達やゲストティーチャーの考えを生かしながら、探究活動に進んで取り組もうとしている。 ② 「働くこと」に対する自分の意識を明らかにするとともに、他者の考える職業観や考えのよさを生かしながら、協働して学び合おうとする。 ③ 今までの自分を振り返ったり、将来の自分を想像したりすることで、これからの成長に対する希望と、自分らしい生き方をしたいという意欲をもつ。																					
研究内容との 関連		研究内容 1 身に付けさせたい資質・能力の具体化と、子どもの探究過程を想定した活動の構成						研究内容 2 子どもが“手応え”をつかむための支援～「問い」と学びの捉え直し～																							
		「職業について調べること ≡ 自分について知ることには必然性がある」と実感できる活動構成						多様な職種・業種の人たちとの関わりから見いだした問いを、自分の将来へとつなぐ手立て																							
活動構成 (45 時間)	時	小単元 1 「働く」って、なんだろう (12)				知	思	主	小単元 2 自分を生かすって、なんだろう (14)				知	思	主	小単元 3 自分って、なんだろう (19)				知	思	主									
	1	○「働く」についてのイメージを出し合う。 ・お金を稼ぐために必要だと思うし、ボランティアのように、お金がもらえない「働く」もありそう。 ・資格や能力、相応の忍耐や努力が必要になりそう。 ・将来の夢はあるけど、「働く」ことに対しては不安がある。 ・「働く」により印象がなかったり、具体的にイメージできていなかったりするから不安なんじゃないかな。 <div>「働く」について、どんなことを知る必要があるのだろう。</div>				①	13	○夏休みの課題を学級で交流し、今後の見通しをもつ。 ・「働く」ことは、想像していたより大変そうだな。 ・自分の好きなことややりたいことができていると、大変でも、「やりがい」が勝ることがありそうだな。 ・家族が大切にしていることと、自分の「なんだろうシート」を比べてみて、共感できることはあるかな。 <div>他の仕事をしている大人は、どんなことを考えているのだろう。</div>				②	16	○GT から話を聞く準備をする。 ・どんな仕事で、何を大切にしているのか、聞いてみたいな。 ・GT にも「なんだろうシート」を書いてもらったらどうかな。 18 ●GT から話を聞く。 ・GT から聞いた話を、今までの自分と比べてみよう。 22 ○GT に聞いた話を整理し、なんだろうシートと比較し、更新する。 24 ○【本時】GT の考えをもとに更新されたシートを友達と交流する ・GT の話を聞いて、自分のシートもどんどん更新されていった。 ・同じ考えをもっているのに、選択した職業は真逆の人もいた。 ・同じ GT から話を聞いているのに、友達の考え方は違った。 ・自分と GT の考え方は似ているなと思った。自分も、この考え方をこれからも大切にしていきたい。自信がついたよ。 ・職業の選び方も、自分のことも、様々な考え方がありそうだ。仕事そのものだけでなく、人に目を向けることって、やっぱり大事なことだ。 25 ○GT から学んだことや友達の考えに触れて新たに生まれた気付きを、自分との関わりでまとめる。 <div>「働く」ということは、様々な考え方があって、人それぞれに正解がある。何を大切に働きたいかを知るには、やっぱり自分を知ることが大切なんだ。GT や友達の話を聞いて、改めて気付くことができた。</div>				③	27	○自分だったら、どのようなことを大切にしたいか、どのようなことを活かしていけそうか、考えをまとめる。 ・自分は、「楽しい」を大切にしたい。そのために、自分の好きなことを生かすことができるように考えていきたい。 29 ○もう一度自分 MAP を書いてみる。 ・選択肢が増えたように感じるな。イメージがしやすくなったな。 <div>これからの成長していく過程で、どんなことを考えていけば、自分のイメージに近づけるのだろう。</div>				③	32	●中学生、高校生、大学生、専門学生から話を聞く。 ・それぞれ、自分の得意なことや好きなことを探しながら、悩みながら頑張っているんだな。 ・中学生から話を聞いて、将来の自分が想像しやすくなったな。 ・大学進学だけが正しい道とは限らないな。 ・自分の道を自分で正解にしていけるのが大切なんだな。 36 ○もう一度「じぶんって、なんだろう」シートを書く。 38 ○小単元 1 で書いたシートと比較する。 ・書けることが増えたな。少し自信がもてるようになった。 ・たくさん考えてきて、自分は、自分の○○な性格を大切にしていきたいと考えるようになったな。 ・前回も全ての欄を埋めることができたけど、前回書いた時より深く自分について考えることができるようになった。 40 ○単元を通して、「自分」について考えたことをまとめる。 ※学習の流れを受け、児童と相談しながら <div>自分が目指す「自分」になれるように、これからも努力していきたい。</div>				④	40 ～ 45
	3	○「働く」についてのイメージを広げる。 ・自分たちが働く頃には、AI の台頭などによって、職業の種類や形態が変化していそうだ。																													
	7	○自分 MAP を作成してみる。 ・高校くらいから、みんなの進路が分かれそうだな。																													
	9	●高校の先生からお話を聞く。(リモート授業) ・「働く」ためには、自分について知ることが大切なんだな。 <div>自分は「自分」のこと、どれくらい知っているのだろう。</div>																													
	10	○「じぶんって、なんだろう」シートを書き、分析する。 ・自分についてよく知らない。書きづらかった。 ・ずらずら書けた。でも自分を褒めるのは難しい。 <div>「働く」には、自分自身について知り、深めることが大切だ。自分について知っていることを増やしていきたい。</div>																													
	12	○夏休みに探究したいことを整理する。 ・家族に、どうして今の職業に就いたか聞いてみたいな。 ・仕事をしているときは、どんなことを考えているんだろう。																													
探究の ポイント 想定する		①「キャリア＝自分を知ること＝生き方を考えること」という思考のつながりをねらい、「自分ってなんだろうシート」を活用して探究する自分自身を振り返る活動を継続的に組み込む。今後の探究活動の展開で自己の成長・変容の自覚につながることを見据え、シートの空欄の項目も自己理解の現状として視覚化し、価値付けを図る。						②夏季休業期間を生かし、身近な存在である家族の職業観や人生観に関する調査活動を設定する。そうすることで、2 学期以降に出会う様々な職種との共通点や相違点へ目を向ける土台を作る。						③GT との出会いの場を設定し、「GT に話を聞くこと＝自分を知るきっかけの一つ」という意識の醸成をねらう。話を聞いて感じたことと自分シートに綴ってきた思いや価値観とを比較したり、異なる話を聞いた友達と交流して働くことのイメージを膨らませたりすることで、児童が自分の職業観を更新し自分の在り方を主体的に展望できるような効果を期待する。						④探究の際の基礎知識として、自分たちが活躍する時代の社会状況に関する情報を台頭する AI や人生 100 年時代を見据えた労働観などの社会的な変数に照らして収集することで、自分探しの客観的な材料の一つとして活用できるようにする。						⑤相手意識と目的意識を明確にした表現活動へつなげられるよう活動を促す。また自分の将来を、職業ばかりでなく、春からの進学やそれ以降の生活とのつながりまでを展望しながら探究の過程を振り返ることを重視する。					